

日本トリム系・東大 再生医療を共同研究

先天的な身体異常向け

日本トリム子会社のステムセル研究所（東京・港）は、東京大医学研究所などと再生医療の共同研究に乗り出した。ヒトのへその緒（さい帯）から採取した細胞を培養し、先天的な身体異常の治療に活用する狙い。まずは細胞の培養技術の確立など基礎研究から始める。

現在は自身の骨の移植などが必要で、身体への負担が大きい。培養したさい帯細胞を当該部位に移植できれば、患者の負担は大きく減ると期待されている。

ステムセル研究所は医療目的でヒトのへその緒に含まれるさい帯血を保存する事業を手掛けている。共同研究では同研究所が医療機関から収集したさい帯を活用する。研究期間は9月から2021年8月末まで。



まず細胞の培養技術の確立など基礎研究から始める